

2008年3月吉日

報道関係者各位

## 虎屋文庫機関誌

# 『和菓子』第15号発行

2008年3月発行(年1回発行)

B5版/136頁/900円(税込) 送料290円

虎屋文庫は和菓子をテーマとした展示、講演会の開催のほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行っております。この度、機関誌『和菓子』第15号を発行いたしましたので、概要をお知らせ申し上げます。

### 機関誌『和菓子』とは

菓子や菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎回「茶の湯と和菓子」「菓子とまじない、占い」「唐菓子」など、菓子に関わる特集を設けています。

### 第15号の特集—菓子道具

和菓子にとって欠かせないのが、木型、蒸籠、鍋などの菓子道具。しかしこれまで、これらに関わる調査や研究があまりありませんでした。今回は、道具と関わりの深い民具の研究者に、菓子道具の歴史のほか、整理・保管・修復の方法についてご執筆をいただきました。また、菓子道具について詳細に記した江戸時代の文献『意地喜多那誌(いじきたなし)』を、同時代の菓子製法書と比較する研究も掲載いたしました。

### 特集執筆者紹介

- 岩井 宏實 (いわい ひろみ) 国立歴史民俗博物館名誉教授・帝塚山大学名誉教授。著作に『民具が語る日本文化』(河出書房新社)、『ものと人間の文化史 136 看板』(法政大学出版社)などがある。
- 宇野 文男 (うの ふみお) 福井大学教授。著作に「資料の整理と管理」(『博物館資料論』放送大学教育振興会)、「標本資料」(『国立民族学博物館十年史』国立民族学博物館)などがある。
- 伊達 仁美 (だて ひとみ) 京都造形芸術大学准教授。著作に「博物館の資料点検調査について」(『元興寺文化財研究所研究報告二〇〇一』)、「民俗資料の運命」(『文化財は守れるか?』文化財保存修復学会)などがある。
- 中町 泰子 (なかまち やすこ) 神奈川大学大学院博士後期課程在学。「資料翻刻 意地喜多那誌」(『歴史民俗資料学研究』12号)、「辻占菓子についての一考察—運を開く・縁を結ぶ—」(『和菓子』11号)などがある。

## **\* 虎屋の御用記録の翻刻**

長年にわたって御所の御用を勤めてきた虎屋には、数多くの古文書が残されています。

そのなかでも「後陽成院様御代より御用諸色書抜留」は、重要な御所御用や虎屋にとって忘れてはならない大切なできごとを記録した史料です。大部に及ぶ本史料を数回に分けて翻刻。4 回目にあたる今号は、桃園天皇から孝明天皇の頃(1747～1866)にいただいた、法事、即位のお能、疱瘡(天然痘)、御所火災に関する御用のほか、京都所司代からのご注文記録などを掲載しています。なかでも、後桃園天皇(1770～1779)のお好み菓子「ふのやき」(※)の注文記録は、大変興味深い内容といえましょう。

※ ふのやき…小麦粉を溶いて薄く焼き、味噌を塗って巻いた菓子。千利休好みの菓子としても知られる。

後桃園天皇の注文記録では、御膳餡を巻いたものとなっている。

## **購入方法**

- 書店には流通しておりません。郵送にて販売致します。(1冊 900円 送料/1冊につき290円)
- 虎屋文庫資料展開催中には、虎屋ギャラリー受付にて販売いたします。

次回開催 5月17日～6月16日 「源氏物語と和菓子」展

## **バックナンバーも販売中**

創刊号～3号は品切れ。4号～14号は販売中。

### **購読お申し込み・お問い合わせ先**

〒107-8401 東京都港区赤坂4-9-22

株式会社 虎屋 虎屋文庫

TEL 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

E-mail [bunko@toraya-group.co.jp](mailto:bunko@toraya-group.co.jp)

**バックナンバーを贈呈しております。ご希望の方は上記までご連絡下さいませ。**